街歩きクラス・通信レポート

No 44

令和元年 9 月 29 日 レポーター: 山田

■ 久しぶりに(四半世紀ぶり)に奥日光に妻と行ってきました。

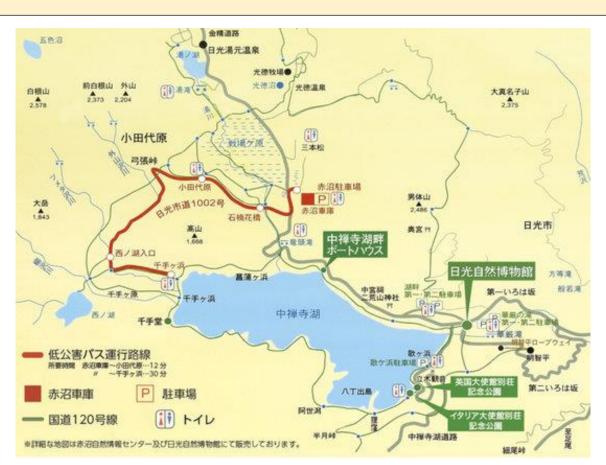
紅葉には早かったのですが、車が混まないこの時期にと思った次第ですが、観光スポットでは何 処へ行っても修学旅行の小学生で溢れていました。

さすがに、小田代原は訪れる人は少なく、のんびりしたハイキングを楽しむことができました。赤沼の駐車場に車を止めて、遊歩道をしばらく行くと戦場ヶ原方面との分岐を左に分かれ、暫く「ミズナラ」林を進むと、戦場ヶ原の展望も楽しめる。途中、鹿侵入防止柵もあり、やがて舗装された、低公害バスの走行路に出ると、間もなく小田代原の休憩所(図の小田代原バス停)に到着。ようやく色付き始めた草紅葉と貴婦人(一本の白樺の木)を眺めながら周辺を散策し、帰りは低公害バス(日野)に乗り赤沼駐車場に戻りました。 湯元温泉に宿泊し、翌日は英国(及びイタリア)大使館別荘記念公園や日光自然博物館を見学し帰りました。

今年は紅葉が遅れているようです。奥日光の紅葉を楽しむなら、10 月 10 日以降が良いかもしれません。

■ 日 時 令和元年 9 月 27 日~28 日

■ 訪 問 先 奥日光·小田代原の草紅葉





赤沼からしばらくすると、戦場ヶ原方面(湯滝)との 分岐



暫くはミズナラの林



途中、戦場ヶ原方面の展望も



草紅葉がようやく色付き始めた小田代原



中央に小さく見えるのが「貴婦人」 右手の山は男体山



「貴婦人」のズームアップ



バス停に来た低公害バス バスに乗って赤沼駐車場に戻りました

低公害バスについて

日光自然博物館に小田代原の低公害バスのコーナ ーがありました。今時低公害自動車(バス)か?と いう思いまありましたが、導入(平成5年)前は、 一般車がピーク時は千台近く通行し、路肩や道路を 外れて駐車したり、排気ガスで周辺の植生にも悪影 響を及ぼす状態だったそうです。こうした自動車公 害を防ぐため、栃木県が中心となって、赤沼から千 手ヶ浜に至る道路を一般車交通止めにし、代替交通 機関として低公害バス(導入当初は電気バス→今は ハイブリッドバス)を導入したとのことです。現在 は地球環境(低 CO2)の観点からヨーロッパも含め 電気自動車にシフトしているようですが、石炭火力 を余儀なくされているような電力事情の中、若干の 疑問も生じます。ハイブリッド自動車も十分低CO2 です。しかも日本が誇る内燃機関技術を生かせるハ イブリッド技術は少しでも長く有効であってほし いと思います。

また、こうした中で、地域事情を考慮し、あえて低 公害を掲げるプロジェクトに敬意を表します。